

# かつて世界地図から消された国、ポーランド。

私達ポーランド人にとって、音楽は如何なる困難に直面した時も、愛国心、そして勇気を奮い立たせてくれる存在でした。ご存知の通り、ショパンはパリに渡って以来、ポーランドの情勢が悪化したことから二度と祖国の地を踏むことができませんでしたが、母国を思って書かれた音楽はポーランドに渡り、国民を勇気づけ、その想いをひとつにし、只々より良い将来の為に闘う力を与え続けたのです。

今年の11月11日はポーランドの独立100周年記念日。この思い入れ深いプログラムを日本の皆様に向けて演奏できる事は、私にとって特別なことなのです。 (マレック・ブラハ/ピアニスト)

## Marek Bracha

マレック・ブラハ



ポーランドワルシャワ生まれ。7歳から「若き才能の有る子供達」のためのワルシャワ音楽学校でピアノを始める。2005年にショパン音楽大学に入学、ポーランド国家勲章授章のテレサ・マナステルスカ教授、アリツィア・ブガイ教授に師事。同時に在学中ケヴィン・ケナー氏に認められ、ロンドン王立音楽大学の研究科に在籍も兼ね研鑽を積む。ショパン音楽大学とロンドン王立音楽大学で修士号を取得。

2000年にハノーファー EXPO、2005年に愛知 EXPO、ショパンフェスティバル、ドシュニキ音楽祭等に招かれ演奏会を行う。また、2008年北京オリンピックのポーランド DAYでの特別リサイタルの他、ドイツ、ベルギー、オランダ、オーストリア、フランス、ロシア、ウクライナとアルバニア各地等国外でも精力的に演奏活動を行う。

2010年10月ショパン国際ピアノコンクールでポーランドを代表するピアニストの4名に選出され、2次予選まで進出。2018年2月、カーネギー・ホール(ニューヨーク)にてソロ・デビュー。またベルリン・フィルのメンバーによって設立されたシャルーン・アンサンブル・ベルリンやシンフォニア・ヴァルソヴィア(ワルシャワ、イェジー・マクシミウク指揮)、ベートーヴェン・イースター音楽祭(ワルシャワ)等にソリストとして招かれ、共演を行う。

2013年NIFC(ポーランドの国立ショパン協会制作)よりショパンのソロ・アルバムをリリース。ヴァイオリニスト、アガタ・シムチェフスカとの共演でリリースしたCDはルクセンブルク・ピツィカート誌にて「スーパーソニック賞」を授与されるなど、国際的に高い評価を得ている。

©Zuzanna Specjal

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

**宗次フレンズ 会員募集中!!**

宗次ホールは  
会員登録していただいた方に毎月無料で  
新作チラシをご自宅にお届けします。

**会員登録・年会費 無料**

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

  
**宗次ホール**  
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~16:00  
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業